大仙市立中仙小学校　学校報　令和５年度 NO.9　令和５年５月３１日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

中庭の緑も濃くなりました

“楽らく 笑SHOW”な学校　なか１０００笑楽校

6月2日は　53歳の誕生日・開校記念日です

６月２日は開校記念日、中仙小学校が５３歳になるお祝いの日です。
私（校長）が、今の児童クラブの所にあった中仙幼稚園の年長だった１２月に、この場所にあった長野小学校が火事で全焼してしまいました。その後、この校舎が新築されて、３年生になった私はわくわくしながら真新しい校舎に通い始めました。
学校には、ずっと大切に保管しておく文書の一つに『学校日誌』というものがあります。そこに答えを見つけました！

昭和４３年１２月２０日・・・長野小学校が火事で全焼
「書類の一切を焼失」し、『学校日誌』は４４年１月１日からスタート

４５年・・・長野小学校・鑓見内小学校・鴬野小学校が統合して
中仙町立中仙小学校が誕生
私は中仙小学校長野校舎（今のトレセンと長野分館の所）の１年生に
それぞれの３校は「中仙小学校〇〇校舎」に

４７年・・・**新校舎が完成して6月2日に落成式　【これが開校記念日】**

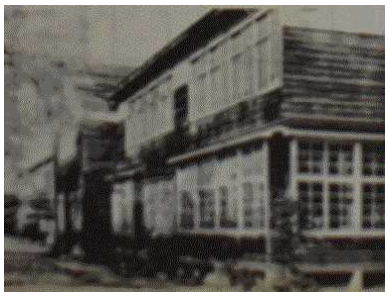
つまり、二つの誕生日が混ざっていました！
①昭和４５年に３校が統合して、中仙小学校という名前ができてから５３年
②昭和４７年に新校舎ができたお祝いの日が６月２日（ここからは５１年）

ということで、昭和４５年と４７年の『学校日誌』から発見したことを紹介します。

昭和４５年　中仙小学校は　児童数６０８名　２５学級！
６月２３日　全校テスト　　５０年前からあったんですね
２月　４日　スキー教室　１．２年　玉川土手！

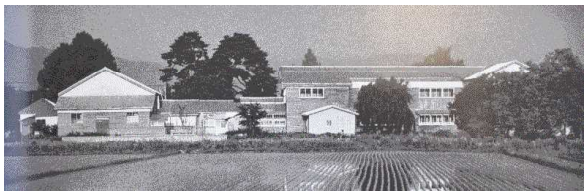
昭和４７年　４月　１日・・・体育館の雨漏り
８月１２日・・・校歌の作曲者決まる

新校舎できたてで・・・！
それまでどうしていたの？

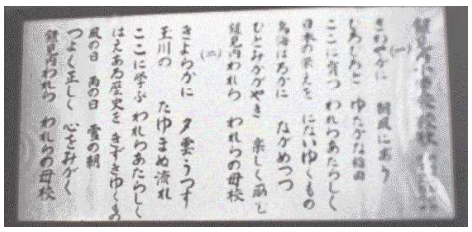

「火災前の長野小学校」

初代校長の
佐藤宏之助校長先生は、
「広い砂利の上に校舎があるだけ」
と当時を振り返っています。

「昭和４７年新校舎完成」（町の広報より）


↑
鴬野小学校校舎

鑓見内小学校校歌→



（大野源二郎氏の
写真集「学び舎」より）

↑鑓見内小学校校舎
（町の広報より）

復活！　『児童総会』

コロナ禍後、学校の生活や行事が動き始めています。
５月２４日（水）には、久しぶりに児童総会がありました。まずは、児童会テーマの発表と説明がありました。昨年度目指したのが「日本一『楽笑な学校』」なので、今年度はさらなるパワーアップをねらっているようです。

ちなみに、私が小学生の頃は、児童会の会長や書記を投票で選出していました・・・。

２０２３　中仙小学校・児童会テーマ
世界一の「楽笑な学校」をめざし
１４３人の笑顔と元気で　心をひとつに　かがやけ中仙小

そのあとでは、今年度６年生が考えて残した「運営」「図書」「給食・運動」の各委員会と、今年度新しく創った「イベント」「ＳＤＧｓ」の委員会が年間の計画などについて、“ＳＨＯＷ”のように楽しく工夫して発表しました。
参加した４年生や５年生からも、とってもたくさんの質問とお願いが発表されて盛り上がりました。
私からは、中仙小学校の子どもたちは、人に言われたり決まったりしたことを素直にやろうとする『自主性』はあるけど、“自分でやるべきことを新しく考える”『主体性』が課題であることを話しました。
６月は、『子ども主体の学校』を目指して、「あいさつ」と「授業」から『主体性』を育んでいきたいと考えています。

図書ボランティアの皆さんです！

今年も、保護者の方々や地域の方が、学校の図書室の整備や、子どもたちに読み聞かせをしてくださいます。
５月３０日（火）は、「図書ボランティアさん・よろしくねの会」が行われました。
体育館では、入場から、緑・赤・黄・青・ピンクの色のゴレンジャーに染まりきって、自己紹介をしてくれました。
朝からテンションマックスで登場してくれた皆さんに心から敬意を表します。

「“楽笑”な学校」の味方である「“楽笑”なお母さんたち！」に拍手です。

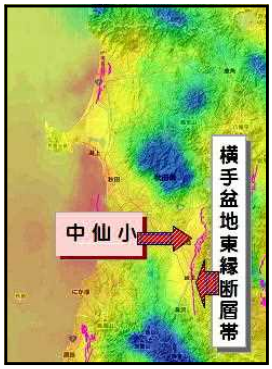
ボランティアの皆さん（写真の左から）

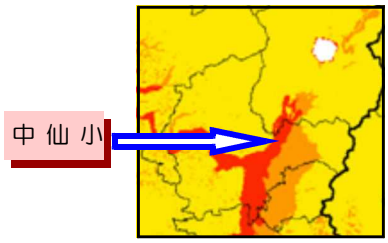
※ピンクレンジャーが仲間入りして、ようやく「５」レンジャーになりました。
みんな卒業生と６年生の保護者です。次の６人目、７人目の方も大募集中で

東日本大震災を経験していない子どもだけになった小学校で・・・

“楽笑な避難訓練”　「地震体験車が来たぁ！」

今回の避難訓練は、『“楽笑（らく SHOW）”な学校』を目指す中での「進・深・新」の『新』をねらって、本物に近い疑似体験を取り入れてもらいました。「楽」の中には、「わかった・できた」という新しい力を身に付ける「楽」しさも含まれます。
地震体験車は由利本荘市岩城の県の消防学校にあります。関東大震災や東日本大震災の揺れを体験した子どもたちは、これまで経験したことのない揺れに、地震の怖さを体感できたことと思います。





低学年は震度４くらいを短時間、高学年は強い揺れを１分間ほど体験しました。
実際の家の様子を想起できる高学年は、特に真剣に考えることができたようです。

私たちの中仙地域は、「横手盆地東縁断層帯」という地震が起きやすい地層に上にあり、３０年以内に震度６弱が起こる可能性が高い地域です（図の色が濃い部分）。改めて、地震への備えの大切さと普段から「できることをやる」ことの大切さを確かめ合いました。